

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表日 令和 6年 5月31日

事業所名 児童デイサービス 結らんど松本II 保護者等数（児童数） 8 回収数 8 割合 100 %

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない		
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	8					
	2	職員の配置数や専門性は適切である	6	1		1		
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8					
適切な 支援 の 提 供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	8					
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8					
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8					
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	8					
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	2		4		
適切な 支援 の 提 供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	7	1				
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされている	7	1				
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニングiv等）が行われている	5	2	1			ペアレントトレーニングについて研修を受講し、職員のスキルアップを図る必要がある
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	8					
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	7		1			その都度対応しているが、直接保護者と対面できない時は電話等で伝えるようにしている
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	2		5	1	コロナ禍以降、大人数開催が難しいと思われる	コロナ禍により開催がむずかしかったが、今後計画し実施していく
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	6	1		1		
17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	7	1			利用日のカレンダーや月間行事表などが分かりやすく て助かってます。	今後も毎月発信していく	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	5	1		2		
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	8					
常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	2	2		4	訓練の実施があると私達も助かります。	年2回以上、適宜行事予定に取り組めて、各訓練を実施していくようにする。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	1	1		6	訓練の実施があると私達も助かります。	実施後に事業所だより等で知らせる
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	8				帰宅後に「楽しかった」と話しています。	
	23	事業所の支援に満足している	8				色々な体験をさせて頂きとても感謝しています。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 5月31日

事業所名 児童デイサービス 結らんど松本II

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1	利用定員にあわせ、一階や二階にわけ活動している。	
	2	職員の配置数は適切である	6	1		児童の人数に対し多かったり少ない時がある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	3		段差や階段が多い。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		送迎後は消毒、清掃を行い、朝の受け入れ前にも清掃を実施。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7		月1回のスタッフミーティングにて実施。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			保護者のニーズに沿った支援がおこなえるようこまめに聞き取りを行っている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開して	6	1	松本IIだよりを作成し公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2		今後検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		全職員が研修に参加できるようにしている。	今後さらにその機会を増やしていく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		保護者のニーズを取り入れて作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1		標準化されたアセスメントツールを使用していく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、	7			地域支援を取り入れた計画書の作成ができるよう地域とのつながりも今後の課題とする。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		定期的に職員間で話し合いの場を設け見直し等を行い、計画に沿った支援につなげている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		全職員で活動プログラム計画立案を行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	2	ミーティング等で職員間で共有し固定化しないようにしてい	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7		自由時間に個別の支援を行いながら、集団活動も取り入れたスケジュール作成をしている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		朝のミーティングで共有している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	朝のミーティングを毎日実施し連絡事項などを共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		個別記録に記入している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		半年ごとにモニタリングを行い、必要に応じて見直しも実施している。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		管理者・児童発達支援管理責任者で対応している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	2		今後検討し連携を図っていく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	4	該当する児童がいない。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	4	該当する児童がいない。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		担当者会議等の参加し情報共有をしている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		担当者会議等に参加し情報共有をしている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2		専門機関との情報共有を増やし、今後さらに研修にも参加できる機会を増やす。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	5		まだ開催できていないが感染症等の状況により今後検討していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	6		まだ開催できていないが感染症等の状況により今後検討していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		送迎時に連携している。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	5		ペアレントトレーニングについて研修を実施し、職員のスキルアップを図っていく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	2	契約時や必要に応じて丁寧な説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7		計画書作成後は、保護者にも説明しながら内容を確認してもらい同意を得るようにしている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		相談などがあった場合その都度対応しているが、直接対面出来ないときは電話などで伝えるよ	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	6		まだ開催できていないが感染症等の状況により今後検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		その都度対応している、	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		月1で発行し配布している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7		事前に保護者へ確認し、写真の掲載などには細心の注意を払う	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		非言語的コミュニケーションも取り入れている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6		コロナやインフルエンザ流行により行っていなかったが、今後行事に組み込んでいく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	3	半年に一回以上行事予定に組み入れ、各訓練を実施している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	3	半年に一回以上行事予定に組み入れ、各訓練を実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		職員間で情報を共有している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			保護者からの情報で確認しているが、医師の指示書についても検討していく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		毎月のミーティング報告し作成している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		研修を実施し職員間でも話し合いを行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7		身体拘束を行わない支援を心掛けている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 6年 5月31日

事業所名 児童デイサービス 結らんど松本II 保護者等数（児童数） 9 回収数 8 割合 89 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	1			
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	6	2			
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	2			
切 な 支 援 の 提 供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	8				
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	8				
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	3			
保 護 者 へ の 説 明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7	1			
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7	1			
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	1			
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	2	3	コロナも一段落したので開催してほしい	今後計画し実施していく
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1			
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1			
14 個人情報に十分注意しているか	7	1				
常 時 等 の 対	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	4	4		ホームページにも公開してほしい	事業所だより等で活動状況を報告する
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	4		情報を伝えてほしい	実施後たより等で知らせる
満 足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	7	1			
	18 事業所の支援に満足しているか	8				

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 5月31日

事業所名 児童デイサービス 結らんど松本II

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ		工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
			いいえ	はい		
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2	1	利用定員に合わせ、一階や二階に分け活動している。	
	2 職員の配置数は適切である	4	3		児童の人数に対し多かたり少な かたりするときがある	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	1	3		階段や段差が多い。
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7			毎月全職員でのミーティングで振り返りを行っている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			アンケートを行っている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		1	ホームページに掲載予定。 「松本IIだより」を毎月発行している	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	5			今後検討予定。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1		研修案内時は職員が参加できるようにしている。	
適切な 支援 の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			計画書作成時や必要に応じて細かな聞き取りを行っている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		1	標準化されたアセスメントツールを使用している。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7			全職員で活動プログラム計画立案を行っている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2	1	ミーティング等で職員間で共有し固定化しないようにしている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	2	1	休日は外出する事が多い。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			自由時間に個別の支援を行いながら、集団活動も取り入れたスケジュール作成をしている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			朝のミーティングで共有している。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		1	朝のミーティングを毎日実施し、連絡事項などを共有している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			個別記録を毎日記入している。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			半年ごとにモニタリングを行い、必要に応じて見直しも実施している。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	3			今後検討を行う

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			管理者・児童発達支援管理責任者で対応している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7			送迎時に連携している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	1	3	該当する児童がいない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7			担当者会議等に参加し情報共有をしている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	4		担当者会議等に参加し情報共有をしている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	3		専門機関との情報共有を増やし、今後さらに研修にも参加できる機会を増やす。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	1	5		コロナやインフルエンザの流行により機会がなかったが、今後は交流の機会を設けるため検討を行う
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1	2	4		コロナ渦は参加できていなかったが、今後は参加を検討していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			送迎時に連携している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2	3		ペアレントトレーニングについて研修を実施し、職員のスキルアップを図っていく。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	1	契約時や必要に応じて丁寧な説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			相談などがあった場合その都度対応しているが、直接対面出来ないときは電話などで伝えるようにしている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1		6	コロナやインフルエンザ流行により行っていない。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			その都度対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			月1で発行し、配布している。	
	35	個人情報に十分注意している	7			事前に保護者へ確認し、毎月のおたよりへの写真の掲載などには細心の注意を払うよう心掛けている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			非言語的コミュニケーションも取り入れている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		1	6		まだ開催できてないが、感染症等の状況により今後検討する。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1	2	半年に一回以上行事予定に組み入れ、各訓練を実施している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	3	1	半年に一回以上行事予定に組み入れ、各訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			研修を実施し職員間でも話し合いを行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1		身体拘束を行わない支援を心掛けている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1			保護者からの情報で確認しているが、医師の指示書についても検討していく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			月1のミーティングで共有している。	